

而して甚同業の解雇を考すら出—の居らないうてありませう。けれど共致々に従
 らる事とむむしのではありませんから。出来る丈圓滿に解決せんとして、今交渉中
 であります。然し会社側は飽くまで頑迷下義理人情を辨へない様な行状と
 して極な事になりませうならば私共は詰呼として戦はねばならぬのであります。
 負明な、万民誦る國家社会には正義と人道が行はれねばならぬ
 甚う中は持ちつ持たれつの中であつて資本家の我まゝばかりを逞ます事は
 出来ぬのであります
 希くは 私共の意を諒せられ、御同情を賜はらん事を。

井上研究所従業員一同
日本労働
 同盟 東京鐵工組合 争議部

財団法人協調會大阪支所

1477

大正十五年三月廿三日

大阪支所長代理
 龜井 信 幸

總務部長 添田 敬一郎 殿

日清電機株式會社ノ争議之件

- ◎ 場 所 京都市上京區西ノ京車阪町
- ◎ 創 立 大正六年四月八日
- ◎ 資本金 五拾萬圓 (全額拂込)
- ◎ 製 造 電機器具
- ◎ 社 長 藤 井 善 助 專務取締役 秋月 周二
- ◎ 職工數 百四十名 (内女工四名)
- ◎ 營業狀態 最近無配當 前半期ノ收入一四六三七圓八〇錢
- ◎ 争議關係職工 百二十四名

15.3.30
 第194号